

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	交通安全対策特別交付金事業			事業コード	1760
担当課等	所属名	玉山総合事務所 [玉山]建設課	担当係名		
	課長名	玉山総合事務所 建設課	担当者名	佐藤潤一	電話番号

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	都市活動を支える交通環境の構築	コード 8
	基本事業	自転車、歩行者のための交通環境の構築	コード 3	関連予算 費目名	一般会計 8款 2項 6目 交通安全対策特別交付金事業(001-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度      ⇒ (開始年度 **年度～)					
事務事業の概要	交通安全施設の整備により、交通の円滑化を図り、併せて交通安全と事故防止を図る。					
根拠法令等	道路法					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
道路管理者として道路環境の向上と、道路利用者の安全の確保を図ることから実施している。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
常に市民、自治会等から多数の整備要望が出ている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
経年劣化による施設の老朽化が著しく、今後更なる事業規模の拡大を図る必要がある。						

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	交通安全施設 道路利用者(車両、歩行者、住民)	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 区画線設置	単位	m
				B. 防護柵設置	単位	m
				C. 道路反射鏡設置, 警戒標識	単位	基
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 交通安全施設の経年劣化による再設置、危険箇所、新規要望箇所の整備を行った。  23年度計画(23年度に計画している主な活動) 交通安全施設の経年劣化による再設置、危険箇所、新規要望箇所の整備を行う。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 区画線設置	単位	m
				B. 防護柵設置	単位	m
				C. 道路反射鏡設置, 警戒標識	単位	基
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	交通安全施設の整備により、道路環境の向上と、道路利用者の安全の確保を図る。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 区画線設置 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	m
				B. 防護柵設置 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	m
				C. 道路反射鏡設置, 警戒標識 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	基
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのよう貢献するか)	自転車の利用促進と歩行環境の向上が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	市民アンケート調査「自転車で快適に移動できる」と思う市民の割合(単位:%) 歩道設置延長(単位:km)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	区画線設置	m	5000	9970	5150	4301	8050		年度
対象 指標B	防護柵設置	m	100	67	90	30	30		年度
対象 指標C	道路反射鏡設置, 警戒標識	基	2	4	4	8	4		年度
活動 指標A	区画線設置	m	5000	9970	5150	4301	8050		年度
活動 指標B	防護柵設置	m	100	67	90	30	30		年度
活動 指標C	道路反射鏡設置, 警戒標識	基	2	4	4	8	4		年度
成果 指標A	区画線設置	m	12996	9970	5150	4301	8050		年度
成果 指標B	防護柵設置	m	72	67	90	30	30		年度
成果 指標C	道路反射鏡設置, 警戒標識	基	2	4	4	8	4		年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	****
事業費	A	千円	2,667	2,408	2,277	2,276	2,277		****
財源 内訳	④国	千円							****
	⑤県	千円							****
	⑥地方債	千円							****
	⑦一般財源	千円	2,667	2,408	2,277	2,276	2,277	0	****
	⑧その他	千円							****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	2,667	2,408	2,277	2,276	2,277		****
	延べ業務時間数	時間	50	50	50	50	50		****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	200	200	200	200	200	0	****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,867	2,608	2,477	2,476	2,477	0	****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 住民生活に密接に関係する道路において、道路環境の向上と、道路利用者の安全の確保を図ることが必要不可欠である。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 道路という公共性の高い施設であり、住民の生活にとって非常に重要な役割を担っている。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくていいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 市道の施設設置が必要な箇所、緊急性、重要性の高い箇所から順次整備を行う。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 市道として道路環境の向上・安全性の確保を図ることから、現在の意図は妥当である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 調査や要望等により、施設の整備を継続して行う。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 道路利用者の安全や生活環境に多大な影響を与える。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 各道路管理者で実施する道路事業(道路・都市計画・区画整理) ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 事業の採択要件が異なるため難しい。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 工事費の算定には一定の基準に基づき決定されるためコストの削減は難しい。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 積算・監督業務が主であるが、積算業務については電算化により業務量の削減に努めたが、監督業務は目標物を完成させるのに必要不可欠であり削減は難しい。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 市道は公共性の高い施設であるため。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 市が管理すべき市道が対象であり、市で負担することが妥当であると考える。

#### 4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)                  ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること                  市道の管理延長は年々増加し、それに対し整備すべき施設も増加しているため、事業規模の拡大を図る必要がある。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？                  (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)                  財政状況の厳しい中で計画的に整備を行うため、事業費確保が必要である。</p>
---------	---

#### 5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :                  ② 有効性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :                  ③ 効率性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :                  ④ 公平性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>歩行者や車両等が安全に通行するため、交通安全施設の設置を行った。</p>							
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input type="checkbox"/> 改革改善を行う  <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携                 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携							
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止								
									
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>道路利用者の交通安全を確保するため、交通安全施設の設置を行う。</p>									